

2020年(令和2年)9月9日(水曜日)

三島駅南口再開発の是非問う

投票条例制定へ署名 直接請求の必要数に

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業の是非を問うために投票条例制定を求める署名活動を進める「みんな三島の未来を創る会」が八日、市役所で見守り、条例制定の直接請

求に必要な有権者の五分の一、約千九百人分を超える二千五百七十五筆が七日時点で既に集まったと発表した。事業は一・三秒にマンシヨンやホテルなどの建設を

計画。二百十一億円の事業費のうち市が五十六億円を負担する。会は新型コロナウイルス感染症への対応のため、計画を一年延期すべきだと主張。市民への説明も不足しているとして、住民投票で事業の是非を判断するよう訴えている。署名活動は八月十七日から始め、多くを戸別訪問で集めた。必要数は集まったが請求者代表の一人、吉岡

肇さん(六八)は「市議会が可決しないと、住民投票は実現しない。今月十七日までの活動期間中に三千筆は集め、多くの人が求めていると議員に示したい」と話した。二十三日に、署名を市選挙管理委員会に提出予定。審査を得て市長に本請求され、十一月中旬には市議会に条例案が提出される予定だ。(渡辺陽太郎)